

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (H29)

| | | | | | |
|------|-------------|-----|-------|-----------|--|
| 法人名 | 有限会社吉野メディカル | 代表者 | 小牧 文夫 | 法人・事業所の特徴 | 鹿児島市のほぼ中央に位置し、シティバスのルート上で史跡などが多く点在する地域に建てられている。住宅街の中にある複合型施設（コミュニティハウス上町）の2階に事業所が設けられ1階に認知症型デイサービス、3,4階に住宅型有料老人ホームがあり、それぞれに交流を持っている。 |
| 事業所名 | 多機能ホーム南洲の杜 | 管理者 | 宮崎 佳代 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|-----|
| | 人 | 人 | 4人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 4人 | 人 | 12人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|-------------------------|--|---|--|---|
| A. 事業所自己評価の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 改善計画は優先順位をつけて実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 取組みが不十分であった。 | | <ul style="list-style-type: none"> 全体会等で事業所自己評価改善計画を皆で確認する機会を作り改善計画への取組みへつなげる。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | | | <ul style="list-style-type: none"> 事業所内の雰囲気は分かりにくい。事業所の1階は受付も兼ねているので事業所の入り口としての雰囲気作りが重要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所内がどのような場かわかりやすいようにデイ・多機能だよりを入口、玄関付近に貼ってみる。 初めて来て下さった方も入りやすいよう1階入口の見やすい所に声掛けしやすいような言葉で簡単な看板を掲げる。 職員は来所された方への挨拶、丁寧な対応を心掛け、電話対応も印象の良い対応をしていく。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | <ul style="list-style-type: none"> 今年度初めて開催した秋祭りを来年度以降も実施する。今年度以上に周知・広報を実施し地域の方々との交流を少しでも増やす。 地域の方達が気兼ねなく来苑して頂けるような開かれた施設を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> 秋祭りを開催するにあたり広告等を以前より多くの場所に貼って頂いたが集客人数は1回目2回目共にあまり変わらず介護相談件数も0件であった。ご利用者やご家族には気兼ねなく来苑して頂いているが地域の方に来苑して頂けるような環境作りができていなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 色々な施設がありわかりにくい。 民生委員の会議などにアプローチしてはどうか。 相談などいつ行って良いのかわからない為、時間曜日など決め周知すると利用しやすいのでは？ | <ul style="list-style-type: none"> 広報活動は回覧板だけでなくご近所へのポスティングも実施する。介護相談は日程を決め周知⇒実施していく。 現在関わりがある方とは今まで以上に交流を図り、他に新しい交流の場を少しでも増やしていく。秋祭りは継続していく。 |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | <ul style="list-style-type: none"> 地域の方と関わる機会が少ないためこれまで以上に地域に目を向け地域資源の発掘に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 以前よりご利用者と地域の方々との交流がある方は場合によって協力ももらえたが、それ以上その他の方にも目を向けて必要な地域資源を新たに発掘するような取組みを行うことができなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ご利用者を含めた会議はあるか？⇒話を行っているが遠慮されたり嫌がられるためあまり実施できていない。必要があれば地域の方を含めて会議を実施したことがあった。 | <ul style="list-style-type: none"> 本人を中心とした地域環境を知りその中で事業所をより知って頂くよう努め、地域資源の発掘につなげる。 |

| | | | | |
|----------------------------|---|--|---|---|
| <p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p> | <p>・介護職員が運営推進会議に参加する機会を作る。不参加者に対しての議事録等での周知を徹底する。</p> | <p>・業務体制の都合により介護職員の参加は少なくなったが申し送りの徹底を行い議事録の周知はできていた。</p> | | <p>・限られた職員のみでの参加だけでなく自ら意欲的に参加出来る様に業務体制を整える。会議で出された意見を業務に活かす。</p> |
| <p>F. 事業所の 防災・災害対策</p> | <p>・災害対応についての勉強会を最低年1回は必ず行う。</p> | <p>・勉強会を通して災害についての取り組みは全職員周知できている。引き続き全職員が災害対策について深く理解できるよう勉強会を実施していく。</p> | <p>・防火訓練に地域の方の参加ある。地域の災害対策等について南洲の杜もできることは参加協力していく。</p> | <p>・回覧板などを活用して事業所の防火訓練に参加していただけるように働きかける。 ・最低年1回の災害対応についての勉強会を継続していく。</p> |